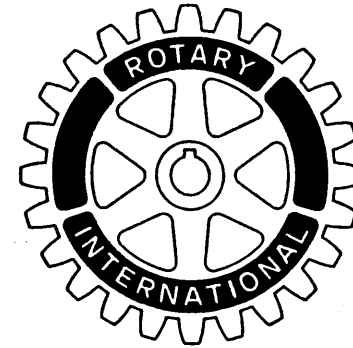


# 職業奉仕について



--ロータリーの主目的は職業奉仕である--

国際ロータリー第277地区

職業奉仕委員会

委員長 森 紀 二



## 各クラブ職業奉仕委員長殿へ

1976～77のRI会長、ロバート・A・マンチェスターさんは、  
こう申しました・・・・・・・・・・・・・・・・

「ロータリークラブにおいては、職業倫理を高めるにはどうすればよいか  
について、もっともっと話し合う必要がある・・・・・・・・

現在あまりにも多くのロータリークラブは実業人や専門職業人が直面して  
いる倫理上の問題を例会で討論することをあまりやっていないようである。  
心すべきことではないか。」

――今年度についてはこの点をお考えください――

そして実践してください

第277地区 職業奉仕委員会より

目次

○1990-91年度国際ロータリーのテーマ	1
●職業奉仕に対するRI会長方針	1
●石井治ガバナーのあいさつの中から	2
●本年度の要望事項	2
☆職業奉仕委員会の任務について	3
☆職業奉仕とは	4
☆何のために社会に奉仕するのか?	4
☆職業について	5
☆「職業を通じて社会に奉仕する」ということについて	5
☆ロータリーの綱領第二の吟味	6
☆職業奉仕四つの反省	7
☆ロータリーの主目的は職業奉仕である	8
○職業奉仕委員会の具体的活動	10
・職業情報委員会	10
・就職相談委員会	11
・職業活動表彰委員会	12
・雇主-従業員関係委員会	13
・職業指導委員会	14
○四つのテスト・職業奉仕四つの反省・職業宣言	16
○職業奉仕事例集	17
1, 販売の事例	18
2, 製造の事例	20
3, 農林の事例	21
4, 建設の事例	21
5, 食品の事例	22

6. 医療の事例	23
7. 弁護士の事例	25
8. 教育の事例	26
9. 銀行の事例	27
10. 公共サービスの事例	28
11. 新聞の事例	29
12. ホテルの事例	29
13. 従業員と共に	31
14. 同業者と共に	33
15. 公害防止の事例	34
16. 職業に関連した社会奉仕の事例	35

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

# ロータリーを高めよ

思いを尽くし熱意を尽くし

パウロV. C. コスターブラジル、サンパウロ州、サントス

1990-91年度 国際ロータリー会長

## ●職業奉仕に対するRI会長方針

ロータリーを高めよ—あなたの職業を尊厳なる日課とすることによってよくなることも悪くなることもたやすいのですが、公正ということは難しいものです。

私たちは、ゆるぎない価値として、私たちの職務を通じて、常に、真実を堅持し、正義を推進し、正直を旨としなければなりません。あなたの業務を奉仕の壮大な機会とすることによってロータリーの真価を発揮してください。若者たちの模範というだけでなく、すでに大人になった人たちの鑑としても、常に奉仕の道を歩んでください。ロータリーの健全なる信条を、同業組合や顧客、競争相手に伝えてください。奉仕の理想へのあなたの信条を示すことによって、最も懐疑的な人の心さえ、あなたの熱意でとらえてください。あなた自信のロータリーへの参加を尊厳なるものと認識し、道徳・倫理を堅持致しましょう。

## ●石井治ガバナーのあいさつの中から

我々の先輩諸氏が試行錯誤を重ねながらも多くの倫理を提唱してきました。「超我の奉仕」とか、「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」、また数々の職業倫理訓・四つのテスト等々が挙げられます。

このような理念の提唱によって、ロータリーの運動の方向付けができたのであり、それがまたロータリーの奉仕活動の大前提であります。

## ●本年度の要望事項

――石井治ガバナーより――

- ①職業奉仕におけるR Iの新方針を推進する
- ②職業宣言の活用を推進する
- ③職奉ニュースの活用
- ④人手不足の問題

――金子雅英諮問委員より――

- ①職業奉仕の事例集とその実践を！
- ②ロータリアン以外の職場にも推進を！

## ☆職業奉仕委員会の任務について

クラブ会員が職業関係における諸責務を遂行し、会員各自が職業上の一般水準を引き上げるために役立つ指導と援助を考える方策を考案し、実施する委員会であります。

ロータリーは職業奉仕から始まります。この点がライオンズクラブや、その他の団体と基本的に異なるわけです。

## ☆職業奉仕とは

- (1) “道徳”を職業に取り入れることである。(R Iパンフレット)
- (2) 職業道徳、職業倫理推進の尖兵となれ。(熊本南・小田一昭さん)

## ☆何のために社会に奉仕するのか？

### (1) 地域社会の人々の健康を確保するために

#### イ、生命尊重対策

- ①健康安全対策
- ②公害問題対策
- ③労働に対する徹底した安全対策
- ④食品添加物の問題
- ⑤食中毒防止対策

#### ロ、健康保持増進対策

- ①労働再生産対策
- ②レクリエーション問題

### (2) 地域社会の人々の福祉対策(企業において)

### (3) 地域社会の人々の幸福を願って(企業において)

### (4) 地域社会の人々の繁栄を願って(企業において)

### (5) 企業に対する消費者運動の声をよく聴いて

## ☆職業について

お互いに人間は、衣、食、住を始めとして、自分の生活を物心ともに、より豊かで快適なものにしたいということを絶えず願っている。それを満たしているところに事業経営の根本の使命があるのである。

## ☆「職業を通じて社会に奉仕する」ということについて

- (1) 顧客が新たに欲求を持つに至った場合、その欲求を満たしてやるために、製品に関する革新に意を用い、斬新なアイデアを得て、新製品を市場に提供することができ、好評を博したとき・・・

(2) 企業を成長させる陰には創意工夫があり、発明の転換がなければなら  
ない。いわゆるノウハウをその企業の発展に転嫁していくこと・・・

(3) 不況克服のためと称して、企業が減量経営に走ったとする。ところが  
会社はそのために縮こまってしまい、新製品開発ゼロとなってしまった。  
ここに思いを致し、顧客の新しい欲求に満足を与えるものとして一つの

新製品を出したところがヒットして、その企業に弾みをつけた、という  
例もあります。

## ☆ロータリーの綱領第二の吟味

(1) 職業の道徳的水準を高めること (倫理基準)

(2) あらゆる職業の価値の認識

(3) 職業を通じて社会に奉仕する

(4) その職業を品位あらしめる

## ☆職業奉仕四つの反省

(1) 顧客に対して

- ・最上の品質、最高のサービスをしているか
- ・常に正直と親切を旨としているか

(2) 従業員に対して

- ・彼等の長所を十分に認め、それを買っているか
- ・安全で快適な職場を確保しているか
- ・苦情に対して公平に処理しているか
- ・自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか

(3) 競争者に対して

- ・公正な態度で接しているか
- ・行動をもって誠実を感銘させているか
  
- ・彼等と共に事業の水準を高める努力をしているか

(4) 協業者に対して

- ・公平でかつ友情に満ちた関係を保っているか
- ・いつも支払いを良くしているか

## ☆ロータリーの主目的は職業奉仕である

ロータリーの創立は1905年2月23日のことである。

当時シカゴにおける実業界の情勢は、情け無用の時代であった。「商売は情けは無用」とか、「商売と友情は両立しない」とかというような諺が示すように、商売というような考えが支配的な時代であった。すなわち「自己保全第一」の時代であった。

ポール・ハリスはこれを非常に心寂しく思ったのである。何とかしてこの溝に橋渡しをすることはできないだろうか。ずいぶん長い間考え続けて、ついに彼は“それは可能だ”と悟り、ただちに具体的に着手しようと決心した。

彼は、実業人と専門職業人との世界に友愛の結び付きを作ろうと企てた。彼は3人の親友に、もし一人一人の人間が、友愛を築く機会をもっと多く持つことができたならば、——とくにその新しい友人が自分と異なった職業人であったならば、——人生はそれらの人達すべてにとって、より良い人生になるだろうと説いた。

彼の3人の友人は、皆これに共感を示し、この4人が会の中核となり、最初のロータリークラブが発足したのである。

はじめは職業上の「相互扶助」すなわち成功に向かっての「相互扶助」であるので、互いに必要に応じて力の及ぶ限り相談し合い、後援し合ったのである。

しかし、たとえロータリアン同志といえども、会員相互間において諸物資を

調達すべきことを義務づけられているからといって、無理にそれを強制するわけにはゆかなくなった。

このようにして、「より高い取り引きの基準」を考え出し、それを実際に履行することの必要性が次第に明白となり、商取引において“ロータリアン”という言葉は“純正”と同義語でなければならないことになったというのである。これが今のロータリーで「職業奉仕」と呼んでいるものの萌芽であった。

——ロータリーは創立の当初から会員の職業的部面を非常に重視していたのである——

当時のシカゴを見渡したところ、金の亡者の集まりで、商業道徳は退廃し、被害は消費の側で防衛せよ、と公言して憚らぬ状態の修羅場となっていた。しかし、こうして破産倒産相次ぐ中にも、尚、商売繁昌を続ける商家のあるのに気付き、その秘密は相手の身となって(Put into their shoes) 励むことと見付けた。

そこで「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」の標語を掲げて、会の指針とし、「超我の奉仕」を唱えて、職業奉仕の団体としての性格を明らかにした。

この職業奉仕の成果によってロータリアンは大きな信念を持つことができるようになった。



## ○職業奉仕委員会の具体的活動

本活動の内容は、第254地区、第257地区、第263地区、第250地区のおもな活動を小委員会別に列記しました。

### 職業情報委員会

#### 1. 例会スピーチ

(イ) 経営問題、経済問題

(ロ) 職業情報

#### 2. 職場例会

会員の職場を輪番で例会場として提供。

#### 3. 業種別初任給等の実態調査。

4. 会員の職場を委員会で訪問し、従業員と懇談。会報を通じてその内容を  
<企業プロフィール>として紹介している。

5. 職業奉仕採点用紙を会員に配布し、弱点を討議し、改善を行う。

6. <経営管理システム、スタッフ心得>を会員に配布し、繁栄の資として  
活用を願った。

7. <職業研究会>を開催し、職業奉仕の実践状態を検討し、会員各自の職  
業についての理解を深めている。

### 就職相談委員会

#### 1. 例会スピーチ

(イ) 就職相談について

(ロ) その他

#### 2. 高校生を対象に<就職懇親会>を開催

#### 3. 進路指導講演会

#### 4. 就職希望者を招待し、バスで工場見学

#### 5. 高校生を対象に、一日職場見学

#### 6. 会員の会社要覧を作成し、中高生の進路指導

#### 7. クラブ会員名簿を学校へ提出し、就職希望者が直接会員に面会する機会 を与える

#### 8. 就職指導教師と職業安定所担当官を例会に招待して意見を聞く

#### 9. 職業訓練校優秀卒業見込者を例会に招待

## 職業活動表彰委員会

### 1. 例会スピーチ

(イ) 表彰について

### 2. 例会に招待して感謝状を授与

(イ) 優良従業員

(ロ) 技能功労受賞者や技能競技会入賞者

(ハ) 4Hクラブ代表者

(ニ) 消防署、救急隊

(ホ) 社会福祉功労者

### 3. 職業奉仕賞表彰式

(イ) 民生委員、保護司、里親、老人家庭奉仕員、老人ホームの調理師  
看護婦、洗濯衣類繕い奉仕員、僻地診療所長

(ロ) 消防署、救急隊

(ハ) 生活環境衛生係員、清掃社社員

(ニ) 身障者の世話をしているホームヘルパー

(ホ) 身障者雇用企業や優秀な身障者従業員

(ヘ) みどりのおばさん

## 雇主－従業員関係委員会

### 1. 例会スピーチ

(イ) 労使関係

(ロ) 経営問題

(ハ) 保険、医療関係

### 2. 例会招待

(イ) 従業員を夜間例会に招待し、ロータリーの内容と精神を理解

(ロ) 新入社員

### 3. 会員企業の創立記念日を祝う制度を設定

4. 職場の職長クラスと「ロータリー精神が職場にどのように浸透し、具現されているか」について懇親会を開催

5. 就業規則や退職金規定の無い事務所に標準例を配布

6. 勤労青少年と職場事例について座談会を開催

7. 優良従業員を招待して<雇主と従業員の関係>について懇親会を開催

8. 労働団体代表を招待して<労働問題研究会>を開催

9. 経営者の社会的責任と従業員の職業意識の向上について炉辺会合を開催

10. <男女の差別撤廃、従業員の意見や苦情を吸い上げる方法>について炉辺会合で討議

## 職業指導委員会

### 1. 例会スピーチ

- (イ) 四つのテスト
- (ロ) 職業宣言
- (ハ) 職業奉仕四つの反省
- (ニ) その他

### 2. 例会招待

- (イ) 定時制高校生を招待し、激励

### 3. 四つのテストを利用するように推進する

- (イ) 森林公園の表示板に
- (ロ) 公民館前に四つのテストの碑
- (ハ) コミュニティーセンターの掲示板に
- (ニ) 各職場、各学校、金融機関などに掲示
- (ホ) 下敷き、灰皿
- (ヘ) ステッカー
- (ト) 印刷した下敷きを全高校生に贈呈
- (チ) ポケット用カレンダーを会員企業の従業員に配布
- (リ) ボールペン

(ヌ) テレビによる広報（釧路北各R C）

(ル) 例会朗読、唱和、斉唱

4. 商業道德の向上について座談会を開催



5. 社是、社訓、座右銘を含む会員企業紹介冊子を作成

6. 小さな親切運動を各職場内に定着、励行するよう働きかける

7. 職業奉仕、四つの反省を印刷し、会員に配布

8. 「職業宣言」の推進

## 四つのテスト・職業奉仕四つの反省・職業宣言

 <h3>四つのテスト</h3> <p>—言行はこれに照してから—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I 真実か どうか</li> <li>II みんなに公平か</li> <li>III 好意と友情を深めるか</li> <li>IV みんなのためになるか どうか</li> </ul>	<h3>職業宣言</h3> <p>ロータリーの綱領の第2項にうたわれている高度の道徳的水準のより具体的指針として、1989年規定審議会は次の「職業宣言」を採択しました。</p> <p>事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。</li> <li>2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規律に対し、名実ともに忠実であれ。</li> <li>3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。</li> <li>4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。</li> <li>5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。</li> <li>6) 自己の職業上の手腕を揮って、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。</li> <li>7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うにあたっては、正直専一なるべし。</li> <li>8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜乃至特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。</li> </ol> <p>あなたのクラブの全会員がこの宣言を理解するよう配慮したうえで、それぞれの職務にこのメッセージを取り入れるよう奨励して下さい。</p>
 <h3>職業奉仕四つの反省</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>I 顧客に対して： <ul style="list-style-type: none"> <li>最上の品質、最高のサービスを提供しているか。</li> <li>常に正直と親切を旨としているか。</li> </ul> </li> <li>II 従業員に対して： <ul style="list-style-type: none"> <li>彼等の長所を十分に認め、かつそれを買っているか。安全で快適な職場を確保しているか。苦情に対して公平に処理しているか。</li> <li>自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。</li> </ul> </li> <li>III 競争者に対して： <ul style="list-style-type: none"> <li>公正な態度で接しているか。行動を以て誠実を感銘させているか。彼等とともに事業の水準を高める努力をしているか。</li> </ul> </li> <li>IV 協業者に対して： <ul style="list-style-type: none"> <li>公平で且つ友情に満ちた関係を保っているか。</li> <li>いつも支払をよくしているか。</li> </ul> </li> </ul>	



## 職業奉仕事例集



この事例集の詳細は、

前原 勝樹 著 「ロータリー職業奉仕事例集」

を参照して下さい

{発行所 ほくと事業出版 TEL (03) 811-4350}

# 1 [販売の事例]

(所属R C・氏名) 敬称略

- 1, 飛行機で交換品を届ける (岩槻・星野)
- 2, 日曜日の配達は主人自ら (上野・某)
- 3, どんな小さなものでも間に合う店に (小見川・小林)
- 4, 必死の覚悟で注文品を間に合わせる (弟子屈・某)
- 5, 小売店への配布を確保して (飯田南・岩原)
- 6, 寒冷地の配達 (酒田・某)
- 7, 正月3日のパンクの修理 (上野・金森)
- 8, 煙草の吸い殻まで掃除してくれるスタンド (生野・N)
- 9, 買う身になっての心使い (前橋西・富沢)
- 10, お客様のご要望には必ず間に合わせる (桐生西・星野)
- 11, 正しい情報も添えて商品配布 (尾道・長谷川)
- 12, いつも笑顔で握手 (横浜東・佐藤)
- 13, 商店はお客様の仕入係 (山形・岩淵)
- 14, 商品知識で奉仕する (飯田南・竹内)
- 15, 希望のメーカーを斡旋 (京都北・山岸)
- 16, クレーム用の黄色い電話 (新千葉・森田)
- 17, 玩具の修理 (沼津・長谷川)
- 18, スタンドマンを全員整備士に (浜松・某)

- 19, カメラの永久無料修理 (大阪北・河原)
- 20, 車歴カードと予約整備 (山形西・鈴木)
- 21, 欠陥車の処置に努力 (鴨川・佐々木)
- 22, アフターサービスとメカニックの尊重 (釧路・柳田)
- 23, 急騰を目前にして安価で放出 (岩見沢・A)
- 24, 品薄の商品を探し回って納品 (京都西・安井)
- 25, ローター精神で再出発 (下妻・鯨井)
- 26, 狂乱物価をよそに顧客に報いる (呉・大之木)
- 27, 石油危機に姿勢を正した社長さん (N社長)
- 28, お客様に喜んでいただく商法 (鹿屋・T)
- 29, 良い品に真心添えて販売 (根室・飛沢)
- 30, 1円値下げに真剣な努力 (白石・山田)
- 31, 刑務所へ冷蔵庫を納めて得た使命感 (鶴岡・早坂)
- 32, 法規を守って正価販売 (高岡・野村)
- 33, 定価販売でアフターサービスに責任を (舞鶴東・塩見)
- 34, 信念を持って特売の実行 (平塚・井上)
- 35, 手紙1本で販売機のトラブル解消 (前橋・斎藤)
- 36, いつも笑顔を忘れず (常陸太田・前島)

## 2 [製造の事例]

- 1, 親切と責任のタッグ (草加・祝原)
- 2, 品質本位の化粧品を (東京南・牛山)
- 3, 使命感を持って良心的な製造を (茨城・高石)
- 4, 経費を度外視して要望の製品を製造 (浜松南・国分)
- 5, 信頼される商品、田舎味噌造り (水俣・小ヶ倉)
- 6, 暖簾に賭けた職業奉仕 (有田・加納)
- 7, 顧客の相談に応じて (広島・熊平)
- 8, アフターサービスを徹底的に (下妻・菊池)
- 9, 私は約手廃止運動を続ける (高石・隅谷)
- 10, 戦後17回値下げした商品 (社長)
- 11, 墓相学で良いお墓を (大和郡山・大石)
- 12, 「職場尊重」のポスター世界を回る (高知南・谷村)
- 13, 誘惑を退けて再起を期す (元会員某)
- 14, 商品知識の普及で顧客に奉仕 (金沢西・山本)
- 15, 新型フラワーポットを試作提供 (東京福生・山崎)
- 16, 製品の弱点を正直に客に話す (川崎・某)
- 17, 自家製品を着て夜会に出席 (大津・山口)

## 3 [農林の事例]

- 1, 研究会を通じて個人的信用を (古河・T. F)
- 2, 品種改良を通じて業界発展に (辰野・吉江)
- 3, 困難を排して100万本造林 (鎌倉・相川)
- 4, 誠実を態度で示して会社再建 (函館東・森岡)
- 5, 公害変じて収入源 (八戸東・山崎)

## 4 [建設の事例]

- 1, 温情で借家経営 (飯田南・木村)
- 2, 借手を選別 (東京八王子・大貫)
- 3, 借手を選び、相手の気持ちになってビル経営 (福島北・長谷川)
- 4, 勤労青年のマイホーム造りにお手伝い (一宮・沢田)
- 5, マイホーム造りに善意を (不破・石井)
- 6, 四日間の建設 (金沢西・森岡)
- 7, 頓挫したビル建設にテコ入れ (東京多摩・匿名)
- 8, 商品と共に満足を売る (A)

- 9, アフターサービスで宣伝費減少 (行田・某)
- 10, 建設後のアフター・ケア (神戸・故F)
- 11, 台風に耐える建築 (岡崎・小原)
- 12, 一部の欠陥に全部をやり直した請負師 (伊藤)
- 13, 良心的な仕事振りが認められて入会許可 (唐津・K)
- 14, 品質第一で過当競争を切り抜ける (八日市・二橋)
- 15, たった一本の電報が繁盛のもと (前橋・羽鳥)

## 5 [食品の事例]

- 1, 料理講習会を開催 (松本・某)
- 2, 安価な料理でテーブルマナー (小倉東・吉田)
- 3, 酔客をタクシーで送る (小松島・内藤)
- 4, 心の通った料理を (舞鶴東・毛受)
- 5, 主人の目の前を通る団子 (言問団子屋)
- 6, サービス業成功のこつ (東京目黒・三田)
- 7, 心をこめて買っていただく (名古屋・吉田)
- 8, 職業の道徳的水準を高めよう (福山・広川)
- 9, 地域同業者と共に繁栄を (坂出・荒木)

## 6 [医療の事例]

- 1, 駅のホームから引き返して子供の命を救う (豊前・佐藤)
- 2, 80歳の老先生の深夜往診 (姫路・空地)
- 3, 患者を待たせず治療 (水戸西・江幡)
- 4, この世に「生」を生み出す私の仕事 (倉吉東・足立)
- 5, 寝たきり老人と共に (仙台北・匿名)
- 6, 文字通りの仁術 (八尾・匿名)
- 7, 障害児を優先的に診療 (桐生西・矢野)
- 8, ある時払いで救急手術 (津名・匿名)
- 9, 細かく気を配った患者扱い (真岡・鈴木)
- 10, 生涯を結核撲滅に没頭 (和歌山・藤沢)
- 11, 外妊破裂を救った話 (札幌西・滝本)
- 12, 患者中心の診療時間 (堺・飯沼)
- 13, 患者から慕われる医師 (Q博士)
- 14, 夜中に患者を同乗させて応急病院を探す (柴田・玉淵)
- 15, 真の仁術を追及 (姫路・井上)
- 16, ロータリアン同志のリレー救急処置 (大館・木村)
- 17, 仁術は四つのテストから (奈良・森井)
- 18, 今年も母親は死なせない (岩槻・岡田)

- 19, 困難な無医村医療に挺身 (粉河・沢田)
- 20, 例会日にも患者に迷惑を掛けぬ (浜松・内田)
- 21, 自分にも患者にも納得のゆく治療を (山形・伊藤)
- 22, 年末の咯血患者に愛の手を (横浜南・長井)
- 23, 平凡な開業医の職業奉仕 (熊谷・河野)
- 24, 一夜に5回の往診 (桐生南・菊池)
- 25, 誠心誠意で僻地医療 (東京小平・佐藤)
- 26, 体一つで入院できる病院に (横浜緑・戸田)
- 27, 老人の身になって入れ歯を (金沢南・津田)
- 28, 診療内容の向上、経営の合理化 (高田東・太田)
- 29, ロータリアンになって診療が楽しくなる (取手・竹村)
- 30, 患者の喜び顔に生き甲斐を (砺波・菅野)
- 31, 歯痛患者を優先的に (四日市・門脇)
- 32, 患者は平等に (三沢・黒田)
- 33, 刑務所へ歯科治療 (秋田・井上)
- 34, 40年前の仁術に感謝状 (岩見沢・鎌倉)
- 35, 20年前の救急患者の成人姿 (高崎・T. M)
- 36, 観音経を唱和してから診療開始 (多古・黒田)
- 37, 針麻酔を開発して術後の苦痛を救う (沼津・本多)
- 38, 面目にこだわらず適医を紹介 (東京北・有山)
- 39, 診療を通じて社会連帯意識を高揚 (奈良・某)

- 40, 投書箱により、患者の声 (広島・正岡)
- 41, 診察場で牛乳、卵を飲ませる (河本重二郎)
- 42, 不便な入院患者に薬品の配達 (高山西・伊藤)
- 43, 会員同志で職場を活用 (盛岡西・若林)

## 7 [弁護士的事例]

- 1, 誠意で無罪を勝ち取る (岐阜・平松)
- 2, 胸襟を開いて特許問題を解決 (東京多摩・大森)
- 3, 夜間電話で税金相談 (土浦・神林)
- 4, 従業員に資格を取らせてチームワークを (宇部西・植木)
- 5, 心暖まるフィンキの中で応接 (春日部・村田)
- 6, 年末の飛び入り客を重税から救う (碧南・植松)



## 8 [教育の事例]

1. 精進と誠実で良医を養成 (別府・八田)
2. 理科系学生の実習受け入れについて (長野東・藤縄)
3. 家庭教育の重要性をさとす (京都南・森)
4. 研究成果の企業化に成功 (東京西・杉野)
5. 温泉試掘に遠慮のない忠告 (山形・安斎)
6. 肝吸虫症と闘う (佐賀・内田)
7. 外国技術者を招いて業界発展に (大阪北・阪田)
8. 外人に神社神道の理解を (福岡・西高辻)
9. 高速RT系巻取機の発明 (伊丹・古川)
10. 副校長自ら教壇に立つ (高石・平岡)
11. 四つのテストで施設管理を (旭川北・七戸)
12. 率先垂範で学校管理 (函館・四倉)
13. 私立高校の正しい選択 (帯広北・渡辺)
14. 園児中心の幼稚園経営 (与野・浅沼)
15. 栄転をなげうって精薄者学園創立へ (津山西・牧野)
16. ローターアクトを適職に (広島北・筒井)
17. 地域社会に役立つ図書館経営 (熱海南・浜田)
18. 苦難を排して児童福祉に挺身 (檀原・河村)

19. ボーイスカウト育成が事業の繁栄に (五条・的場)
20. 進んでカウンセラーを志願 (大阪南・世戸)
21. 四つのテストで紛糾を解決 (岡山南・山田)
22. 身障者に運転免許の路拓く (狭山・町田)
23. 他人の職業も大切に (仙台南・手島)

## 9 [銀行の事例]

1. 話し合いムードで管理運営 (前橋・諸田)
2. お客様は神様 (某銀行)
3. 銀行を立て直した支配人 (水戸・風戸)
4. 自筆手製の感謝の札を (元岩見沢・稲葉)
5. 会員の相互扶助は職業奉仕の出発点 (池田・松野)

## 10 [公共サービスの事例]

1. 制服に誇りを持った電鉄職員 (某)
2. ガス料金の低位安定 (釧路・両角)
3. 万難を排して沖縄ガス事業に成功 (那覇・湧川)
4. 雪の夜に職務に徹した警官 (某警官)
5. 美しい言葉で応対 (岐阜南・三ッ木)
6. 雪の山道の配達 (岐阜県栃尾郵便局・中村)
7. 市政に四つのテスト (東京府中・矢部)
8. ビニール袋の新聞 (新聞店主・某)
9. 「駐在所だより」を発行 (警察官・水保)
10. 利用者側にたったの職業奉仕 (京都・絹川)
11. 地震被害地にまず電燈を (沼津・大越)

## 11 [新聞の事例]

1. 地域に愛される新聞に (大船渡・鈴木)
2. 市民に親しめる新聞を (桐生・K)
3. チラシの効果を調査 (名寄・湯川)
4. 報道と広告の倫理綱領の確立 (水戸・後藤)
5. 印刷人綱領で同業者指導 (東京大森・谷本)
6. きれいな心できれいな印刷 (築館・鈴木)
7. 顧客に感謝する (京都南・河北)

## 12 [ホテルの事例]

1. 善意を尽くしてお客様に喜んでいただく (諏訪・藤原)
2. 食堂の客全員と握手 (故野村洋三)
3. 安くて気軽な山の温泉を (十日町北・波形)
4. 観光ガイドをする旅館の主人 (塩釜・小幡)
5. 友情に支えられて外地ホテル経営 (宇都宮・金谷)
6. 本職に徹してこそ職業奉仕 (大阪・古田)

- 7, 職業に徹したドアマン (某ドアマン)
- 8, 外国まで聞こえた親切な運転手 (宮崎交通バスガイド)
- 9, 運転者に会社のファンをつくらせる (新潟南・金井)
- 10, 運転手教育で全国に模範を (宮崎交通タクシー運転手)
- 11, 裏返し作戦でタクシー会社の立て直し (行田・鈴木)
- 12, 料金を取らなかった運転手の話 (西ベルリンの運転手)
- 13, 心に化粧のバスガイド (某バスガイド)
- 14, 風景を私せぬドライブイン (宮崎・岩切)
- 15, バス運転手とドライブイン経営者との間の理解と信頼 (A)
- 16, 健全娯楽としての麻雀クラブ繁昌記 (東京城西・脇野)
- 17, 軍人勅諭の精神が出資者を動かす (市川東・青山)
- 18, ボートの漕ぎ方を教えて業域の開発 (名古屋東・水野)

## 1 3 [従業員と共に]

- 1, 従業員教育でスーパーに対抗 (所沢・井関)
- 2, 従業員に対する信頼を基礎に発展した事業 (M)
- 3, 給料袋に感謝文を刷り込んで (下関東・篠原)
- 4, 月給袋に職業奉仕訓を同封 (函館・棟方)
- 5, 従業員は友達 (京都・西村)
- 6, 職場で四つのテストを斉唱 (鶴岡・高橋)
- 7, 役員との区別がないのが特徴 (神奈川・吉橋)
- 8, 従業員と共に職業奉仕を (大田・秋田)
- 9, 週休二日制導入に指導力を発揮 (観音寺・隈川)
- 10, 四つのテストの活用 (三原・佐藤)
- 11, 体験を「社員読本」に (郡山西・曾我)
- 12, 他社から社員引き抜きを断る (A社社長)
- 13, 四つのテストで争議解決 (泉佐野・小沢)
- 14, 職業奉仕はまず社員の人づくりから (戸田・赤塚)
- 15, 職場は生活の場 (日立南・某)
- 16, 菊作りで従業員を陶冶 (今治・T)
- 17, 社員に職業理念を徹底させる (岩見沢・福岡)
- 18, 従業員を主役にした経営 (水戸西・成田)

- 19, 労務被害者に徹底的にお世話を (生野・三浦)
- 20, 信念で会社の再建 (大津・H)
- 21, 労使関係の安定で会社の繁栄を (横浜東・T. I)
- 22, 人の和を経営理念として (富士・小林)
- 23, 綱領三章を毎朝斉唱 (大阪北・阪田)
- 24, 組合員参加の経営協議会 (函館・伊部)
- 25, ボーナスの繰上げ支給 (種市・三浦)
- 26, 若い店員への躰 (木更津・某)
- 27, 雇用者の誕生日にその家庭を訪問して祝う (阿南・増田)
- 28, 事業経営にロータリー組織を導入 (横浜南・斎藤)
- 29, 従業員も患者も家庭ムードで (大船渡・菅原)
- 30, 朝礼卓話の交換 (鳥取北・谷口)
- 31, 従業員をローターアクトに入れてサービス改善 (神奈川・末永)
- 32, 従業員と密接な接触を保ちつつ (豊中南・澤)
- 33, スジを通してトラブル解決 (京都山科・説田)
- 34, 職員の住宅購入に援助 (藤沢・生川)
- 35, 時間をかけて職員間の断絶を取り除く (滝川・岡本)
- 36, 四つのテストで誠意を示す (室蘭東・市来)
- 37, 顧客と職員を大切にした旅館経営 (花輪・関)

## 1 4 [同業者と共に]

- 1, 肥料同業者間の人の和を築いたロータリアン (飯田・山下)
- 2, 同業者組合の指導者として (津山・野々上)
- 3, プロパン業者に誇りを持たせ道德水準を高めた (A)
- 4, 同業組合結成により商業道德の高揚 (栃木・小松崎)
- 5, 同業者を成功させる (東京八王子・小野)
- 6, 企業合同によるサービス改善 (下館・諏訪)
- 7, 商取引の適正化で同業者を指導 (京都・西村)
- 8, 大・中小企業者の協調に成功 (龍野・浅井)
- 9, 近隣の同業者と職業奉仕委員会を作りリベート競争に終止符を  
(神戸東・安福)
- 10 競争相手の同業者から敬愛をうけた事例 (福島・吉村)
- 11, 親愛なるライバル (元高萩会員・A)
- 12, 同業者を指導して災害復旧 (本渡・小野川)
- 13, 適正な同業者を斡旋 (岡崎南・加藤)
- 14, 同業者を指導して理想的な新ミカン園を開発 (清水北・平岡)
- 15, 同業者を説得して休日当直制を確立 (明石・長亀)
- 16, 休日急患診療所 (神奈川・吉尾)
- 17, 同業者の勉強会を通じて質の良い奉仕を (山形・吉田)

18. 理容職人に職業奉仕の精神を (水俣・某)
19. 冷凍魚の共同購入に成功 (防府・松原)
20. 地域の観光開発に率先挺身 (十和田秋田・諏訪)

## 1 5 [公害防止の事例]

1. 公害防止の設備の整った模範工場を建設 (習志野・白鳥)
2. 原因を究明して公害を食い止めた (小倉・鮎川)
3. 技術者としての公害防止 (京都南・田中)
4. デーゼル機関工場の騒音排除 (大阪淀川・柴田)
5. みかん汁の公害を防止 (御坊・戸根)
6. 進んで煤煙防止を (鞆の浦・匿名)
7. 上質炭仕様で一石三鳥 (神戸東・丹沢)
8. まず自分の工場からは公害は出さぬこと (宇治・那須)
9. 広告による公害防除の啓蒙 (高石・隅谷)
10. 騒音防止を自発的に断行 (千葉・川口)
11. 勇気を持って大企業に公害防除装置を設置させた (木更津・藤代)

## 1 6 [職業に関連した

### 社会奉仕の事例]

1. 公共の寄贈を通じて企業の隆盛を (小林・柳田)
2. 養護学校に視聴覚設備を (高田東・横瀬)
3. グリーンスタンプで身心障害者に贈物 (会津若松・笹内)
4. 全国的に植樹運動を展開 (大阪南・久我)
5. 奨学生の卒業祝いに洋服を贈呈 (A仕立屋)
6. 無料で鞆修理 (土浦・塚本)
7. 写真展の会場を提供 (芦屋・桑田)
8. 雪中に突っ込んだ車を救う (中村)
9. 空き家探しで顧客増加 (名寄・中山)
10. 精薄者を採用し、職業訓練を (石鹼会社社長)
11. 社員用プールを学童に開放 (岡崎南・加藤)
12. 体育館を建築し、一般に開放 (喜多方・小野瀬)
13. 盲目の交換手を採用 (大月・天野)
14. 社内報で地域社会の開発へ (富士吉田・横山)
15. 出前する店員の身になって (釜石・山本)
16. 太平洋上で立ち往生の漁船に給油 (那智勝浦・松下)

- 17, 廃校跡に幼稚園設立 (戸田・池上)
- 18, 無料試写会で慰問品を集める (熊本・木下)
- 19, 寝たきり老人の家庭を訪問 (室蘭東・遠藤)
- 20, 老人健康診断受診率の向上 (甲府・高山)
- 21, 公害教室を開設 (和歌山東・汐見)
- 22, 敷地の一部を児童公園に (蒲郡・小田)
- 23, 例会に同席したお陰で健康を回復 (神戸北・堀江)
- 24, 壮大なる奉仕、医大を開設 (岡山・川崎)
- 25, 同業ロータリアンと共に医師会病院設立 (阿南・岸)
- 26, 観光旅行中の救急医療 (大多喜・小林)
- 27, 汽車中の分娩 (札幌西・滝本)
- 28, 例会場で無料血圧測定 (福島・大原)
- 29, 地域の中学生の血液型検査を実施 (大多喜・小林)
- 30, 老人ホームの健康診断20年 (室蘭東・大西)
- 31, 開業の傍、稀病の研究 (矢板・篠原)
- 32, 映画「ガンとの闘い」を制作して地域の保健に (真壁・延島)
- 33, 下関市に於ける難病児教育 (下関・中島)
- 34, ガン検診にイニシアチブを (津山・中島)
- 35, 難聴言語障害の教育に挺身 (松山・佐藤)
- 36, 僻地学童に歯ブラシ寄贈 (平・原)
- 37, 学童に対する耳鼻科無料検診 (函館・大宰)

- 38, 短期人間ドック (福岡城西・H)
- 39, 法律を離れて保護家庭の世話 (岐阜・土川)
- 40, ドイツ語でオリンピックに奉仕 (札幌・井手)
- 41, 街路樹の枯死を救う (仙台南・奥津)
- 42, 劇場経営を通じての文化活動 (名古屋・長谷川)
- 43, 土地問題の悩みに答えて (函館東・神田)
- 44, この土地にふるさとの心を (倉敷南・篠山)
- 45, 精薄施設卒業者を優先的に採用 (あるクリーニング屋)
- 46, 地域に密着した情報の提供 (水沢・松本)



森 紀二 殿寄贈

02  
22624  
ロータリー文庫

<「職業奉仕について」の引用文献>

前原勝樹著「ロータリー職業奉仕事例集」  
第263 地区職業奉仕委員会「新しいプログラム」  
第250 地区職業奉仕委員会「活動の現状分析」  
第254 地区職業奉仕委員会「活動について考える」  
第277 地区職業奉仕委員会「職奉委員会報告書」  
東京ロータリークラブ「職業奉仕について考える」  
大館北ロータリークラブ「職業奉仕とは」  
小田一昭著「職業奉仕の勉強 上・下」  
東京世田谷西ロータリークラブ「四つのテストについて」  
神守源一郎著「ロータリーでいう職業奉仕」  
他多数

発行者 森 紀二 (シニア・アクティブ 情報処理)  
(越谷中RC)

【ロータリー歴】

昭和49年(1974) 4月 2日越谷RC入会  
1973~1974 親睦委員  
1974~1975 プログラム委員  
1975~1976 出席委員  
昭和51年(1976) 5月11日越谷RCを退会し、越谷北RCに入会  
1976~1977 副幹事(CN実行委員長)  
1977~1978 幹事  
1978~1979 国際奉仕委員長  
1979~1980 会長イレクト、副会長  
1980~1981 会長、ポールハリスフェロー  
1981~1982 米山奨学委員長  
1982~1983 ロータリー情報委員長  
地区委員(R財団奨学学友委員)  
1983~1984 分区幹事  
1984~1985 プログラム委員長  
1985~1986 副会長  
1986~1987 地区委員(米山増進委員会委員)  
1987~1988 職業奉仕委員長  
1988~1989 地区委員(職奉ニュース委員会委員長)  
1989~1990 地区副幹事・越谷中RC拡大委員長  
平成 2年(1990) 3月31日越谷北RCを退会し、越谷中RCに入会  
1990~1991 地区委員(職業奉仕委員会委員長)  
クラブ奉仕委員長